

ー2026 年度第 1 回（第 32 回）建設技術講演会ー

共催：(一財)茨城県建設技術管理センター
(公社)土木学会 関東支部 茨城会

(一財)茨城県建設技術管理センターおよび(公社)土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたく、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す 2 名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2026 年 8 月 7 日（金） 講演 14:30～17:00（受付 13:30）

○場 所：公益財団法人 茨城県開発公社 4 階大会議室
〒310-0852 水戸市笠原町 978-25 茨城県開発公社ビル
TEL 029-301-7000（代）

○プログラム：

14:30 開会

14:30 主催者挨拶

14:45～15:45（質疑時間を含む）

〈講演 1〉鉄筋コンクリートの実形状をミリメートルスケールで再現すると何が見えるのか？

〈講師〉茨城大学 学術研究院 応用理工学野 都市システム工学領域
教授 車谷 麻緒 氏

〈概要〉鉄筋コンクリートの内部では、鉄筋の塑性変形とコンクリートのひび割れ形成が複雑に絡み合いながら、部材の性能を決定しています。しかし、私たちが普段観察できるのは部材表面の変化のみであり、内部で何が起こっているのかを直接見ることはできません。本講演では、鉄筋・粗骨材・モルタルからなる鉄筋コンクリートの実際の構造をミリメートルスケールで再現し、材料内部の挙動を「見る」ための数値解析技術をご紹介します。異形鉄筋の形状や粗骨材の配置まで考慮した詳細なシミュレーションにより、これまで捉えることが困難であった部材内部のひび割れ進展挙動や破壊メカニズムを可視化し、鉄筋コンクリートの新たな理解への道筋を示します。

15:45～15:55 休憩

15:55～16:55（質疑時間を含む）

〈講演 2〉日本のインフラ危機 ―その現状と未来に向けた処方箋―

〈講師〉日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

〈概要〉本講演では、講演者の著書『日本のインフラ危機』をもとに、老朽化が進む日本のインフラの現状と課題、そしてその解決策について解説します。道路、橋梁、鉄道、上下水道などのインフラは高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化に加え、技術者不足や財政制約が深刻化しています。さらに、激甚化する自然災害や、カーボンニュートラル社会の実現に向けた対応も急務となっています。講演では、インフラの劣化メカニズムや長寿命化技術、「良いインフラ」を造るための考え方を紹介するとともに、インフラの管理者、研究者・技術者、市民が果たすべき役割を考察し、持続可能な社会の実現に向けた道筋を示します。

17:00 閉会

○参加費：無料（事前登録制）

○特典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます（2.0 単位）

○申込方法 : 下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScGIEXb3pUAAm3VKpqUFA7oHeRucHjtZki9J9aS170IcdrOww/viewform?usp=header>



○13:45 より高等学校調査研究活動成果発表会、土木学会関東支部茨城会 調査研究部会活動
中間報告会を開催いたします。そちらも CPD 単位付与対象となりますので、皆様お誘いあわせ
の上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください。

※おひとり様ずつの申し込みをお願いいたします。メールアドレスは重複してもかまいません。

○申込期限 : 7 月 24 日 (金)

○連絡先 : 〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学日立キャンパス
土木学会関東支部事務局 担当: 曾我部まで
TEL / FAX: 0294-38-5160 E-mail : jsce.ibaraki@gmail.com